

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3900	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設								
2.施設名	宮崎市養護老人ホーム「清流園」	4.利用圏域別分類	広域・市域								
5.所在地(町名・番地)	清武町今泉甲6894	15.設置根拠法令	老人福祉法第15条第3項								
6.バス停	松の木田(150m)	16.設置条例	宮崎市養護老人ホーム条例								
7.開設年月日	平成14年3月14日	17.市の計画	完全民営化の方向で検討中								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人日向更生センター)	18. 外観									
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和07年3月31日										
10.用途地域	その他		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	家庭環境や経済的な理由によって、他の高齢者施設に入所することが困難な65歳以上の高齢者を対象とし、自立した生活や社会的活動への参加に必要な指導および訓練などを支援するため、入所型の施設として設置した。(R5.4.1現在、宮崎市措置者45人、市外措置者4人) 施設の標高22m										
13.主な利用者	65歳以上の者(宮崎市民以外も入所している)		20.避難所の指定(標高)	指定避難所 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	5台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	8,875.21 m <sup>2</sup>			24. 建物情報	総延床面積	2,523.52 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	727172千円 (-)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	2002年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	17,946	100.0	17,946	-	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	365	100.0	365	-	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	49	100.0	49	-	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	21,323	103.7	20,563	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	163,539	154.7	105,735	-
	使用料(減免後)②	0	-	0	-		施設のコスト	59,129	-	0	-
	その他③	21,323	103.7	20,563	-		事業のコスト	96,910	98.7	98,235	-
	《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-		人に係るコスト	7,500	100.0	7,500	-
	指定管理者の収入計⑤	165,751	102.9	161,062	-		指定管理者の支出計⑨	167,009	102.9	162,225	-
	指定管理料⑥	13,035	100.3	12,996	-		施設のコスト	20,955	107.7	19,464	-
	利用料金収入	0	-	0	-		自主事業以外のコスト	44,395	105.6	42,050	-
	自主事業収入	0	-	0	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	152,716	103.1	148,066	-	人に係るコスト	101,659	100.9	100,711	-		
収入合計⑦	187,074	103.0	181,625	-	支出合計⑩	330,548	123.4	267,960	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-	-	-	-	28.工事請負費・修繕費	59,129	-	0	-		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	174,039	103.2	168,629	-	31.市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	155,251	158.1	98,168	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 1,258	108.2	△ 1,163	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	47	128.2	37	-		
32.施設所管課	地域包括ケア推進課		33.施設主管課	地域包括ケア推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3900	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設
2.施設名	宮崎市養護老人ホーム「清流園」	4.利用圏域別分類	広域・市域

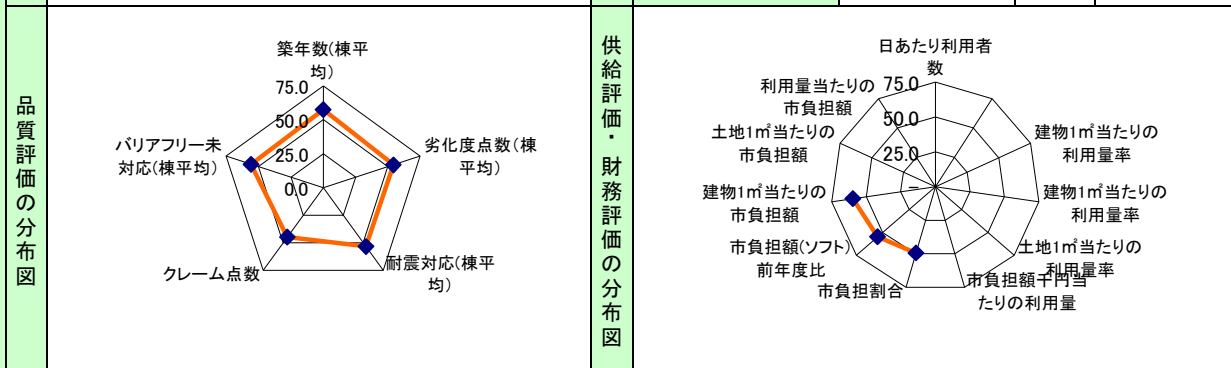
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上	A
	B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上	
	C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満	
	D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	
	品質評価の評価(偏差値)	53.2
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	54.6

① 品質評価 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	21.000 年	57.5	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	0.700 件	54.3	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	4.000 点	44.8	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
		評価値		53.2	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率		台		台
		土地1㎡当たりの利用量率		人		人
		市負担額千円当たりの利用量				
		評価値		-		

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	46.970 %	49.4	46.028 %
		市負担額(ソフト)前年度比	97.900 %	54.7	107.940 %
		建物1㎡当たりの市負担額	61.522 千円	59.7	87.667 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			千円
		利用量当たりの市負担額			千円
		評価値		54.6	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3900	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名	宮崎市養護老人ホーム「清流園」	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	基礎評価の品質、財務ともに平均点以上となっており、安定したサービスの提供を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】入所者の高齢化や心身機能の重度化による認識違い等によるクレームが年数回寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】当該施設は基準に基づいて措置費を算定している措置施設である。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市内の養護老人ホーム6施設のうち残り5施設は社会福祉法人が設置運営し、宮崎市(一部他市町村)が措置を行っている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	きよたけ児童クラブ、清武幼稚園、清武小学校、清武中学校、ふるさと農産加工センター、清武総合福祉センター、清武総合支所、清武子育て支援センター、清武保健センター、清武児童文化センター、清武町文化会館、宮崎市清武体育館	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市総合福祉保健センター、宮崎市総合発達支援センター、宮崎市保健所・中央保健センター、宮崎市夜間救急センター小児科	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	明星園、カリタスの園松の寮、生目幸明荘、長寿園、望洋園計5施設	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	協定福祉避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道269号線から主要地方道高岡郡司分線、県道13号線を500m程度南進した位置にあり、施設から80mの位置にバス停留所が設置されているなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】11.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘はない。本施設は旧清武町時代に世代間交流及び地域交流の場として整備した「ふれあいの里」の中核施設として、平成14年に移転改築されたものである。運営は平成5年度から社会福祉法人日向更生センターへ委託を開始し、平成18年度からは、同法人を指定管理者に指定している。(R5. 4. 1現在、宮崎市措置者45人、市外措置者4人) 民間への譲渡については、平成27年に一度検討を行っているが、同敷地内に「清武幼稚園」と「きよたけ児童クラブ」が併設しており、関係各課との調整が必要である。	

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3900	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名	宮崎市養護老人ホーム「清流園」	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「処分(廃止、売却・譲渡)」、機能の評価(案)は「廃止」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止、売却・譲渡)	
16	建物の評価(案)の理由	建築後20年しか経過しておらず、建物に大きな不具合も見受けられないため、現指定管理期間は現サービスの提供を継続し、その後民間への譲渡を行う予定。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外するとき		
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	廃止	
19	機能の評価(案)の理由	高齢者の増加に伴い養護老人ホームとしての存続が不可欠であるため、現指定管理期間は公設施設として維持する。その後施設譲渡により公設施設としての機能は廃止し、民間施設として機能の継続を予定する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外するとき		

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4180	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	宮崎市栄町児童館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	別府町5-18	15.設置根拠法令	児童福祉法		
6.バス停	児童公園前(50m)	16.設置条例	宮崎市児童館条例		
7.開設年月日	昭和50年4月1日	17.市の計画	施設のあり方を検討中		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団)	18. 外観			
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	近隣商業地域				
11.財産区分	公共用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の子どもたちや子育て中の親子が自由に来館し、安心して遊べる施設であり、「遊びイベント」、「地域団体等と連携した交流事業」、「子育て交流ひろば」を行うなど、児童の健全育成に努めている。築47年を経過しており、床や外壁などに経年劣化が見られる。				
13.主な利用者	児童(満18歳に満たない者)	20.避難所の指定(標高)	— 5.20 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	185.49 m <sup>2</sup>		24. 建物情報	
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	8,981	134.8	6,664	—
	開館日数	294	129.5	227	—
利用率	31	103.7	29	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	1,053	38.4	2,742	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	1,053	38.4	2,742	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	8,937	97.6	9,161	—
	指定管理料⑥	8,866	98.5	8,999	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	71	43.8	162	—	
収入合計⑦	9,990	83.9	11,903	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,124	38.7	2,904	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 180	△ 61.9	291	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,097	40.3	7,682	—
	施設のコスト	2,347	33.9	6,932	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
指定管理者の支出計⑨	9,117	102.8	8,870	—	
施設のコスト	586	92.6	633	—	
自主事業以外のコスト	1,197	108.9	1,099	—	
自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	7,334	102.7	7,138	—	
支出合計⑩	12,214	73.8	16,552	—	
28.工事請負費・修繕費	1,799	27.5	6,536	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	10,910	78.3	13,939	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	89	106.1	84	—
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4180	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	宮崎市栄町児童館	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	49.9			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	47.5			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	47.000 年	37.1	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	2.000 件	48.1	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
	評価値	49.9			
② 供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	31.000 人	51.0	29.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.823	45.5	3.055
	評価値	48.3			
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	89.320 %	41.0	49.116 %
		市負担額(ソフト)前年比	123.100 %	47.2	105.123 %
		建物1㎡当たりの市負担額	58.814 千円	50.5	73.066 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	1.215 千円	48.1	0.905 千円
	評価値	46.7			
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

## (2) 施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4180	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市栄町児童館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 C】築年数が古い、品質評価が低くなっている。また、利用者数が少なく、供給評価が低い ために、財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築47年を経過しており、評価がかなり低い。 【評価指標】劣化度数【原因】経年劣化により、内外装に劣化が生じている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用料を徴収しない施設である且つ、利用者が少ない ために利用量の評価が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】国や県の運営費補助制度がない(国は地方交付税措置化)ため、指定管理 料等のほとんどを市の一般財源にて負担している。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用品等の助成 を行ったことによる負担増及び施設休館に伴う運営費の減少要因が無かったため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用者数が少ないために、市負担額の評価が低い	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設(児童館・児童センター、地区交流センター)が24施設(概ね中学校区に一つ)整備されてい る。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	第四庁舎、瀬頭別館、本庁舎、第三庁舎、宮崎市民プラザ、みやざきアートセンター、宮崎市総合体育館、 宮崎市保健所・中央保健センター、宮崎中学校、宮崎小学校、老松団地、宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・ Y PARK)、橋公園、別府街区公園、別府街区公園、上野町駐車場栄町街区公園、二葉街区公園、二葉 街区公園、宮崎中央公園、宮崎市教育情報研修センター、宮崎市中央公民館、宮崎科学技術館、宮崎小 学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎小学校、江平小学校、宮崎東中学校、児童クラブ(江平小学校・敷地内・校舎外)、宮崎小学校(給食 室)、江平小学校(給食室)、宮崎児童クラブ(宮崎小学校・附属小学校・敷地外)、江平第二児童クラブ(江 平小学校・敷地外)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道宮崎港宮崎停車場線と市道橋通老松3号線の交差点に位置する栄町街区公園内に立地しており、宮 崎駅まで約400m、施設から約50mの場所にバス停(児童公園前)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央東) 【現在の人口】27,010人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】0.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 ○県内に74施設(うち9施設は休止中)、都城市が14施設(うち民設民営1施設)、三股町が9施設(うち2施 設は休止中)、延岡市が7施設(うち民設民営5施設)を設置している。 ○中核市では、盛岡市が40施設と最も多く、設置のない市もある。児童館を設置している市の平均は10施 設。(令和4年度都市要覧より)	

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4180	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市栄町児童館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)を「継続」。機能の評価(案)を「継続」とする。ただし、令和6年度までにあり方を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価において、築47年を経過しており、品質評価が低くなっている。個別施設計画(長寿命化計画)において、木造児童館は、目標耐用年数を50年としており、公民連携手法における改修・更新・機能強化・維持管理の活用を検討する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	建物及び設備を計画的に保全することにより、修繕更新費の削減に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
19	機能の評価(案)の理由	児童健全育成の拠点施設として児童の安心・安全な居場所となっていることに加え、子育て交流ひろばや育児相談等の対応を行うなど地域の子育て支援施設としても機能する重要な施設となっている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	運営費や指定管理料の見直しを行うなど、市負担額の削減に努める。	



施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	宮崎市霧島児童館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	船塚一丁目81	15.設置根拠法令	児童福祉法		
6.バス停	霧島2丁目(180m)	16.設置条例	宮崎市児童館条例		
7.開設年月日	昭和49年4月1日	17.市の計画	施設のあり方を検討中		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団)	18. 外観			
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の子どもたちや子育て中の親子が自由に来館し、安心して遊べる施設であり、「遊びイベント」、「地域団体等と連携した交流事業」、「子育て交流ひろば」を行うなど、児童の健全育成に努めている。築48年を経過しており、床や外壁などに経年劣化が見られる。				
13.主な利用者	児童(満18歳に満たない者)	20.避難所の指定(標高)	— 8.60 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	185.49 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	10,670	132.3	8,068	—
	開館日数	297	130.8	227	—
利用率	36	101.1	36	—	
24. 建物情報	総延床面積	185.49 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	8519千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造			
	建築年(主たる建物)	1974年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,168	41.6	2,810	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		1,168	41.6	2,810	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		10,779	117.7	9,161	—
指定管理料⑥		10,127	112.5	8,999	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	652	402.5	162	—	
収入合計⑦	11,947	99.8	11,971	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,820	61.2	2,972	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	1,861	639.5	291	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,452	19.5	7,449	—
	施設のコスト	702	10.5	6,699	—
事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	750	100.0	750	—	
指定管理者の支出計⑨	8,918	100.5	8,870	—	
施設のコスト	625	98.7	633	—	
自主事業以外のコスト	1,233	112.2	1,099	—	
自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	7,060	98.9	7,138	—	
支出合計⑩	10,370	63.5	16,319	—	
28.工事請負費・修繕費	501	8.0	6,270	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	10,411	76.3	13,638	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	120.1	84	—	
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	宮崎市霧島児童館	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	48.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	48.1			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	48.000 年	36.3	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	3.000 件	43.3	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.8	0.700 件
	評価値	48.8			
② 供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	36.000 人	54.2	29.000 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.025	45.9	3.055
	評価値	50.1			
③ 財務評価 市負担割合の評価がかなり低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.400 %	38.6	49.116 %
		市負担額(ソフト)前年比	134.500 %	45.5	105.123 %
		建物1㎡当たりの市負担額	56.127 千円	50.6	73.066 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.976 千円	49.6	0.905 千円
	評価値	46.1			
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4210	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市霧島児童館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 D】築年数が古いいため、品質評価が低くなっている。また、利用者数が少なく、供給評価が低い ために、財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築48年を経過しており、評価がかなり低い。 【評価指標】劣化度数【原因】経年劣化により、内外装に劣化が生じている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用料を徴収しない施設である且つ、利用者が少ない ために利用量の評価が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】国や県の運営費補助制度がない(国は地方交付税措置化)ため、指定管理 料等のほとんどを市の一般財源にて負担している。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用品等の助成 を行ったことによる負担増及び施設休館に伴う運営費の減少要因が無かったため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用者数が少ないために、市負担額の評価が低い	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設(児童館・児童センター、地区交流センター)が24施設(概ね中学校区に一つ)整備されてい る。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防庁舎(消防局・北消防署)、宮崎市北部記念体育館、宮崎市北部老人福祉センター及び宮崎市 青少年プラザ、宮崎西中学校、江平小学校、西池小学校、高千穂街区公園、和知川原街区公園、西霧島 街区公園、中鶴街区公園、出水口公園、鶴田街区公園、霧島街区公園、丸山ふれあい広場、中津瀬街区 公園、児童クラブ(江平小学校)、宮崎市宮崎西地区交流センター、児童クラブ(西池小学校)、江平小学 校、西池小学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎西中学校、西池小学校、児童クラブ(西池小学校・敷地内・校舎外)、西池小学校(給食室)、丸山児童 プール、霧島児童プール	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	市道と和知川原通線から市道江平出水口線を約100m東進した位置にあり、施設から約180mの場所にバ ス停(霧島2丁目)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央西) 【現在の人口】20,099人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】0.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 ○県内に74施設(うち9施設は休止中)、都城市が14施設(うち民設民営1施設)、三股町が9施設(うち2施 設は休止中)、延岡市が7施設(うち民設民営5施設)を設置している。 ○中核市では、盛岡市が40施設と最も多く、設置のない市もある。児童館を設置している市の平均は10施 設。(令和4年度都市要覧より)	

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	4210	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市霧島児童館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)を「継続」。機能の評価(案)を「継続」とする。ただし、令和7年度までにあり方を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価において、築48年を経過しており、品質評価が低くなっている。個別施設計画(長寿命化計画)において、木造児童館は、目標耐用年数を50年としており、公民連携手法における改修・更新・機能強化・維持管理の活用を検討する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	建物及び設備を計画的に保全することにより、修繕更新費の削減に努める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
19	機能の評価(案)の理由	児童健全育成の拠点施設として児童の安心・安全な居場所となっていることに加え、子育て交流ひろばや育児相談等の対応を行うなど地域の子育て支援施設としても機能する重要な施設となっている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	運営費や指定管理料の見直しを行うなど、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3320	3.利用用途別分類	保養観光施設							
2.施設名	宮崎市田野物産センター	4.利用圏域別分類	広域・市域							
5.所在地(町名・番地)	田野町南原二丁目21-8	15.設置根拠法令								
6.バス停	合又(600m)	16.設置条例	宮崎市田野物産センター条例							
7.開設年月日	平成15年2月2日	17.市の計画	施設のあり方を検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(有限会社 田中漬物)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日									
10.用途地域	近隣商業地域									
11.財産区分	公共用	19. 内部	 							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	<p>農業者から無人販売所を統合した野菜直販所の設置要望があり、旧田野町が田野地域の特産品や農業加工品などの販売拡大を目的として設置した。農業者の連携により、地域の農産物を生かした加工技術の伝承や生産者の顔が見える安全・安心で新鮮なおいしい農産物の販売強化、地域資源(農産物、農産加工品、菓子加工品)を提供している。</p>									
13.主な利用者	観光客、周辺住民	20.避難所の指定(標高)	— 141.60 m							
14.利用者駐車可能台数	38台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	2,899.68 m <sup>2</sup>		24. 建物情報	総延床面積	314.45 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	71045千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			建築年(主たる建物)	2002年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	121,254	98.2	123,445	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	開館日数	362	99.7	363	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	335	98.5	340	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>				
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,968	238.4	1,245	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	2,218	448.1	495	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	16,298	102.1	15,956	—	指定管理者の支出計⑨	12,488	88.9	14,045	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	804	116.4	691	—
	利用料金収入	6,834	98.7	6,923	—	自主事業以外のコスト	1,770	89.2	1,985	—
	自主事業収入	9,464	104.8	9,033	—	自主事業のコスト	3,355	75.5	4,444	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	6,559	94.7	6,925	—	
収入合計⑦	16,298	102.1	15,956	—	支出合計⑩	15,456	101.1	15,290	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	2,218	448.1	495	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	16,298	102.1	15,956	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,968	238.4	1,245	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	3,810	199.4	1,911	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	19	235.8	8	—	
32.施設所管課	田野・農林建設課			33.施設主管課	田野・農林建設課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3320	3.利用用途別分類	保養観光施設
2.施設名	宮崎市田野物産センター	4.利用圏域別分類	広域・市域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		A		
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				
品質評価の評価(偏差値)		52.9			
供給評価・財務評価の評価(偏差値)		53.6			
① 品質評価 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	19.700 年	58.6	30.600 年
		劣化度点数(棟平均)	2.500 件	45.7	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	51.7	0.700 件
		評価値		52.9	
② 供給評価 利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	335.000 人	47.5	408.000 人
		建物1㎡当たりの利用量率	1.065 人	62.9	0.518 人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	40.854	52.0	30.505
		評価値		54.1	
③ 財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	19.200 %	57.1	41.567 %
		市負担額(ソフト)前年度比	100.000 %	44.5	83.269 %
		建物1㎡当たりの市負担額	9.439 千円	52.9	13.339 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.024 千円	57.7	0.254 千円
		評価値		53.1	
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3320	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市田野物産センター	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	近隣の類似施設とすると評価は高い。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 【原因】外壁にひび割れやさび、剥落などが見られる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【供給評価】利用率の評価が低い。 【原因】新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者数が減少したと見られる。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 【原因】他の類似施設よりも、収入の規模や総額が少ないため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	なし	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野町自転車駐車場、田野文化会館(農村環境改善センター)、宮崎市田野総合支所、第2部消防倉庫消防団車庫6棟、田野小学校、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童センター、田野中学校、南原1号街区公民館、宮崎市B&G田野海洋センター、南原4号街区公園、南原団地、中ノ原1号街区公園、中ノ原2号街区公園、宮崎市田野町南地区公民館	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市道の駅フェニックス、宮崎市道の駅高岡、宮崎市道の駅田野、清武四季の夢、城の駅	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	【県】みやざき物産館、【民間】百彩	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	施設は国道269号線沿いにあり、JR田野駅から車で5分、最寄のバス停留所まで徒歩10分と交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,910人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘なし。	

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3320	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市田野物産センター	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
16	建物の評価(案)の理由	当面の間、大規模改修などの必要がないことから、建物は「継続」とする。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	定期的な点検などの予防保全に取り組み、修繕や更新等の費用を削減する。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
19	機能の評価(案)の理由	田野物産センター単体では、指定管理料はゼロの施設であるため、将来の売却や民間譲渡の可能性を探るため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	田野物産センターは、指定管理者の収益が大きくなった場合、納付金として、その一部を市へ納入する仕組みを導入している。	



施設カルテ

令和5年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3330	3.利用用途別分類	保養観光施設							
2.施設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	4.利用圏域別分類	広域・市域							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲7885番地164	15.設置根拠法令								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市道の駅田野総合案内施設条例							
7.開設年月日	平成09年4月1日	17.市の計画	施設のあり方を検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(有限会社 田中漬物)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日									
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用	19. 内部	 							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	県南部の観光ルートと位置づけられている県道日南高岡線の道路情報を提供するとともに、田野地域の特産品を販売するため、道路利用者の休憩場所および特産品の販売所の機能を備えた「道の駅」として旧田野町が設置した。道の駅の登録は、隣接するJA宮崎中央の牧場部分も一体的に指定されている。									
13.主な利用者	観光客	20.避難所の指定(標高)	— 330.20 m							
14.利用者駐車可能台数	23台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	3,358.14 m <sup>2</sup>		24. 建物情報	総延床面積	323.00 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	69274千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			建築年(主たる建物)	1996年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	24,752	107.4	23,039	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	開館日数	362	99.2	365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	68	108.4	63	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>				
25. 収入	(区分・単位)	令和4年度		令和3年度		(区分・単位)	令和4年度		令和3年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	100.0	750	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	8,530	123.8	6,892	—	指定管理者の支出計⑨	7,998	97.5	8,204	—
	指定管理料⑥	1,494	100.0	1,494	—	施設のコスト	966	113.1	854	—
	利用料金収入	3,744	103.7	3,610	—	自主事業以外のコスト	524	51.2	1,024	—
	自主事業収入	3,292	184.1	1,788	—	自主事業のコスト	1,694	168.9	1,003	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	4,814	90.4	5,323	—	
収入合計⑦	8,530	123.8	6,892	—	支出合計⑩	8,748	97.7	8,954	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	7,036	130.3	5,398	—	31.市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,244	100.0	2,244	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	532	△ 40.5	△ 1,312	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	26	102.4	25	—	
32.施設所管課	田野・農林建設課			33.施設主管課	田野・農林建設課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3330	3.利用用途別分類	保養観光施設
2.施設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	4.利用圏域別分類	広域・市域

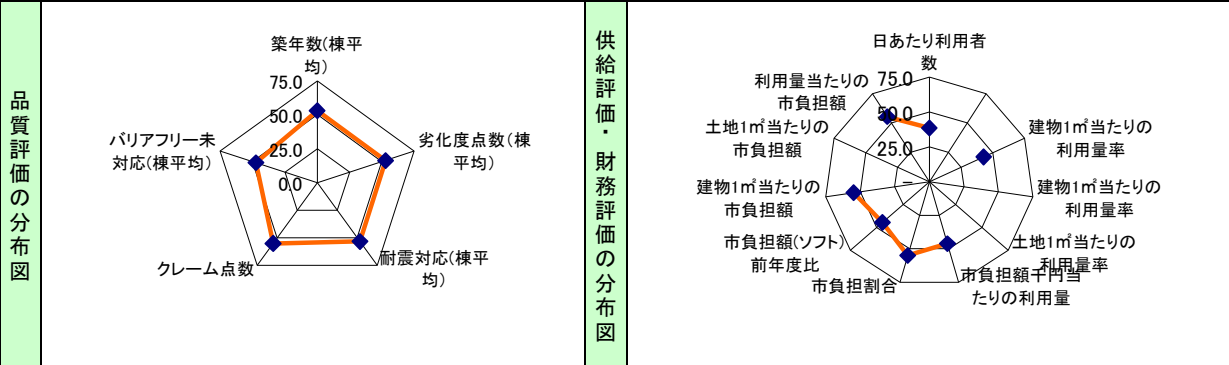
5.基礎評価

評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C
	品質評価の評価(偏差値)	52.4
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	47.6

①品質評価 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	26.800 年	53.0	30.600 年
		劣化度数(棟平均)	1.000 件	52.9	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件
		評価値		52.4	

②供給評価 利用率の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	68.000 人	38.6	408.000 人
		建物1㎡当たりの利用率	0.212 人	42.8	0.518 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用率	11.030	46.3	30.505
		評価値		42.6	

③財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和4年度	偏差値	平均
		市負担割合	25.650 %	55.1	41.567 %
		市負担額(ソフト)前年度比	100.000 %	44.5	83.269 %
		建物1㎡当たりの市負担額	6.947 千円	54.7	13.339 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用率当たりの市負担額	0.091 千円	55.5	0.254 千円
		評価値		52.5	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3330	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質・供給・財務評価全般に変化はないが、利用量率や市負担割合の評価が低いため、全体としてC評価となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応の評価が低い。 【原因】視聴覚障害のための誘導用床材等が出入口付近や階段に設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率の評価が低い。【原因】農産物など、店独自の商品割合が少ないため。 ②【評価指標】床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。【原因】入込み客が少ないため。 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用料の評価が低い。【原因】入込み客が少ないため。 ①②③【原因】上記以外に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全体的な評価が低くなった。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 【原因】他の類似施設よりも、収入の規模や総額が少ないため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市内には、道の駅が3施設点在しており、また、民間にも同じ利用用途の施設がある。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	なし	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市田野物産センター、宮崎市道の駅フェニックス、宮崎市道の駅高岡、交流プラザ清武四季の夢、城の駅	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	道の駅としてはないが、物産販売所として、【県】みやざき物産館、【民間】百彩	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	田野ICから主要地方道日南高岡線を日南方面に5分程行くと、日本最大級のV脚をもつ蒼雲橋があり、その橋を渡りきったところに、宮崎市道の駅田野総合案内施設がある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,476人(令和4年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,910人(令和4年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】1.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。	

## (2)施設評価シート

		令和5年度	令和5年度
台帳番号	3330	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市道の駅田野総合案内施設	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
16	建物の評価(案)の理由	利用者は年々減少しており、田野物産センターとセットで指定管理を公募することによって運営者がいる状況である。令和4年度の東九州自動車道開通により更に利用者が減ることが予想されるため、廃止も含めて施設の見直しの検討を行うため。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	定期的な点検、整備を行い、予防保全に取り組み、修繕更新費用を削減する。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和7年度までに施設のあり方を検討する。	
19	機能の評価(案)の理由	利用者は年々減少しており、田野物産センターとセットで指定管理を公募することによって運営者がいる状況である。令和4年度の東九州自動車道開通により更に利用者が減ることが予想されるため、廃止も含めて施設の見直しの検討を行うため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外のとき	市負担額を削減するため、利用料金制を導入しており、利用料金収入の増加に必要な売上や来場者の増加を図るため、引き続き売店の商品構成の見直し、更なる集客イベントの開催、地元と連携した新商品開発などに取り組む。	